

新たらしい教育委員に 字本町の下山美佐江さんを選任



この度、新しい教育委員に字本町の下山美佐江さんが選任されました。
下山さんは、4人のお子さんを育て、また、PTA役員や女性活動、少年団活動など、学校教育・社会教育活動を実践に行ってきた方です。
今後は、豊富な子育て経験を活かし、教育委員として、当町における教育行政に携わることとなります。

コミュニティバス「メロディー号」 本格運行スタート



4月1日、3月中旬から始まった約2週間の試験運行を終え、コミュニティバスが本格的に運行を開始しました。
道南バス泉線の廃止に伴い、時刻も走行ルートも一新された2台のコミュニティバス「メロディー号」は、1日の平均利用者は90名で、朝は、通学や通勤に、日中は、通院や新冠温泉に行く人たちが利用しています。

若い力に期待を込め 地域おこし協力隊員委嘱状交付



4月1日、役場会議室で、5名の地域おこし協力隊員に委嘱状が交付されました。
今回委嘱を受けたのは、将来、新規就農を目指す農業支援員が4名、観光協会の職員が1名の計5名で、それぞれ、3年間の活動期間の中で、農業研修や観光事業に携わりながら、産業振興や地域の活性化のための新たな担い手として活動していきます。

交通事故に気をつけて！ 交通安全運動「人の波作戦」



4月6日、レ・コード館前で、交通安全運動「人の波作戦」が行われ、老人クラブや商工会、ライオンズクラブの会員などが参加しました。
町内では、死亡交通事故は発生していないものの、何台もの車両を巻き込む重大な交通事故が発生しております。
外で遊ぶ子どもが増えることからこの時期は、特に「安全運転」を心がけましょう。

総合戦略策定本部設置 「人口減少を食い止める」



明がありまし
た。
明がありまし
た。
明がありまし
た。

昨年、国の人口が急速に減少していくこと、また、低出生率や東京一極集中により、将来、小規模自治体が消滅する可能性が指摘されたことを受け、町では、人口減少問題に歯止めをかける「人口ビジョン」「総合戦略」を策定するため、町長を本部長とする総合戦略策定本部が立ちあげました。
これに併せて、4月16日に、地域の有識者からなる新冠町総合戦略推進会議の1回目の会議が行われ、総合戦略の策定に本会議も参画していく旨の説明がありました。



中山グランドジャンプ アプトトウデイト号優勝

4月18日、中山競馬場で行われた障害競走最高峰の一戦、第17回中山グランドジャンプ（J・GI）は、字美宇の榎ノースヒルズが生産したアプトトウデイト号が、優勝しました。
林満明騎手が騎乗するアプトトウデイト号は、序盤から好位置につけ、最後の4コーナーで先頭に立つと、そのまま大きく後続を突き放し、J・GI初優勝。また、優勝タイムも4分46秒6のレコードタイムとなりました。



優勝が決まると、近隣の牧場関係者や町長がノースヒルズ事務所を訪れ、牧場スタッフと一緒に万歳で優勝を祝いました。

平成26年度消防功労者消防庁長官表彰 字若園の山豊さんが受賞



この度、字若園の山豊さんが、消防功労者消防庁長官表彰を受賞され、4月7日、消防署新冠支署2階の消防団会議室で、小竹町長より表彰状が伝達されました。
山さんは、昭和50年より消防団に入団し、平成24年から、第3分団分団長として活動しており、これまでの実績が評価され、この度の受賞となりました。

JR日高線の土砂流出現場 小竹町長や漁業関係者らが視察



4月9日、高波の影響で護岸設備が損傷し、盛土が流出しているため不通になっているJR日高線の現場を、町長や町職員、町内の漁協関係者らが視察しました。
今回の視察は、土砂の流出により、コンブ漁などへの漁業被害が無いかを確認するためのもので、漁協関係者は「現段階では、大きな被害はみられない」と話していました。

緑丘自治会・古岸自治会 町長と語ろうまちかどミーティング



4月15日、緑丘生活館で、緑丘自治会と古岸自治会合同の町長と語ろうまちかどミーティングが開かれ、光回線や携帯電話、また、地域の産業施設について小竹町長と意見交換を行いました。
まちかどミーティングの開催は、役場企画課で一年を通して受け付けており、自治会のみならず、一定要件を満たす団体も申し込みができます。

新冠町プレミアム商品券 発売開始から2日で完売



4月20日、本町多目的交流センターで、新冠町商工会がプレミアム商品券を発売しました。
この商品券は、町内の商店などで使える1万2500円分の商品券を、1万円で購入できるもので、販売会場では、発売開始時間には約50名が列を作り、用意した6000冊の商品券は、わずか2日で完売する人気ぶりでした。